

競技注意事項

1. 競技規則について

本大会は2012年度日本陸上競技連盟競技規則、ならびに本大会の申し合わせ事項により行います。

2. 出場者の招集方法について（次頁コラムも参考にお読み下さい。）

(1) 招集所は100mスタート地点後方に設置します。

(2) 競技に参加する方は、出場の意思を表明するために、次の手順で招集手続きを行って下さい。

① 出場する最初の種目の開始60分前から30分前に、招集所に掲示する出場競技者一覧表の自分のナンバーに○つけをして下さい。○つけは本人でも代理人でもかまいません。

② 出場する最初の種目の開始10分前までにスタート場所、跳躍・投てき場所で待機して最終点呼をうけて下さい。この際にナンバーカードをつけたウェアを必ず着用し集まって下さい。

（出場のみなさんの記録、順位を正確に判定するために、ウェアを着用した状態でナンバーカードがはっきり見えるか、最終点呼の際に確認させていただきます。）

③ 各種目とも2種目目以降も上記①②と同様の手続きを行って下さい。

3. 棄権について（次頁コラムも参考にお読み下さい。）

やむを得ず棄権する方は、招集所に事前に連絡して下さい。円滑な競技の運営をするためにも、無断で棄権しないようにご協力をお願いいたします。棄権の連絡は本人でなくても大丈夫です。

なお、各種目とも1種目目を棄権の場合は、2種目目以降の出場は出来ませんのでご注意下さい。

4. 更衣室について

更衣、シャワーはロッカー室、シャワー室を使用して下さい。

5. ウォーミングアップ場について

補助競技場、室内練習場（バックスタンド下）が利用できます。また、競技に支障がない範囲でバックストレートを開放しますので、役員の指示に従って練習して下さい。

近年、ウォーミングアップなどでのトラックの不用意な横切りによる衝突事故なども起きております。ウォーミングアップは、周囲に十分注意して、また、ヘッドホンを着用して音楽を聴きながら行うことなども事故につながりますので、行わないようにして下さい。

また、補助競技場は一般利用者との共用ですので、より一層、安全面等に注意してご利用下さい。

6. ナンバーカードについて

(1) 出場者は大会本部で主催者が用意したナンバーカードを受け取って下さい。

(2) 安全ピンは各自でご用意下さい。

(3) ナンバーカードは主催者が用意したものをそのままの大きさをそのままの大きさを胸および背部に安全ピンで確実につけて下さい。

(4) ナンバーカードは競技終了後回収しますので、大会本部受付に返却して下さい。

(5) トラック種目については、右腰に腰ナンバーカードをつけて下さい。腰ナンバーカードは招集（コール）の際に配布し、ゴールで回収します。

7. 競技用スパイクについて

等々力陸上競技場のウレタン舗装の厚さはトラックおよび走幅跳の助走路が13mmとなっています。したがって、スパイクのピンは長さ9mm以内のものを使用して下さい。

8. 計時について

トラック競技は、すべて写真判定装置により1/100秒まで測定します。

9. フィールド競技について

(1) ベーシック三種競技の砲丸投、走幅跳の試技は3回とします。

砲丸投（単一種目）は3回の投てき後、各部門上位8名はさらに3回の試技と行います。

(2) 投てき物の重さは以下の通りとします。

	一般・大学生	高校生	中学生
男子 砲丸投	7.260kg	6.000kg	5.000kg
女子 砲丸投	4.000kg	4.000kg	2.721kg

10. 競技用器具について

競技に使用する用器具はすべて主催者側で用意します。

11. 順位の決定について

- (1) 2種目(ベーシック三種競技は3種目)の合計得点によって、各部門ごとに順位を決定します。
- (2) 同点の場合、同得点の他の競技者よりも多くの得点をとった種目の多い競技者を上位の順位とします。
- (3) 上記(2)でも決まらない場合、各種目のどれか1種目で最高得点(同得点者間比較)をとった競技者を上位の順位とします。

12. 表彰について

各部門上位3位までに賞状、優勝者にメダルを授与します。競技終了後、得点の集計が終了次第、アナウンスいたしますので、呼ばれた方は大会本部まで速やかにお集まり下さい。なお当日、賞状等を受け取れない場合、お申し出があれば送料をご負担頂く方法で郵送いたします。

13. その他

- (1) 競技に関して分からないことがありましたら、場内にいるスタッフに遠慮なくお問い合わせ下さい。
- (2) 競技中に発生した傷害や疾病については主催者が応急処置を行いますが、以後の責任は持ちません。
- (3) 貴重品の保管には各自で十分に留意して下さい。紛失、盗難があっても責任を負いかねます。
- (4) ゴミは各自でお持ち帰り下さい。

**何か不明な点、わからないことがあれば、
大会本部受付もしくは大会のスタッフ（スタッフのカードをつけております）に
気軽に聞いて下さい。**

出場者のみなさんのためのコール（招集）です

陸上競技をやっている人は誰でも、一度や二度は「コール漏れ」になりそうになって冷や冷やした経験をお持ちだと思います。コール（招集）は面倒くさいと思っている方も多いのではないのでしょうか。

陸上競技の大会でなぜコール（招集）を行うのか、その目的を考えてみました。

- 1) 出場申し込みをしたアスリートが競技に参加するかどうかを確認すること（出場競技者一覧表へのつけ）
- 2) 出場者の記録、順位を審判が正確に判定できるように、ウェアを着用した状態でナンバーカードがはっきり見えるか確認すること。
（競技開始直前の最終点呼）がコールの目的なのです。

競技会に出場するアスリートの記録、順位を正確に判定してもらうためのコール（招集）です。みなさん面倒がらずに、時刻に遅れないように、ナンバーカードをつけたウェアを着用してコールを受けましょう。